

第一部：鈴木直樹BAND



Cl.&Sax. 鈴木直樹

Pf. 田中和音

Perc. 熊本比呂志

Vn. 田尻かをり

Vn. 石川寛子

Vla. 浅川文

Vc. 菅野太雅

西脇基金 チャリティーコンサート 2023年 9月20日(水)

富岳太鼓：第二部



会場 なかのZERO大ホール

開場 17:30 開演 18:00

入場料金：前売り

自由席 3,000円 / 指定席 3,500円

※当日券/自由席 3,500円

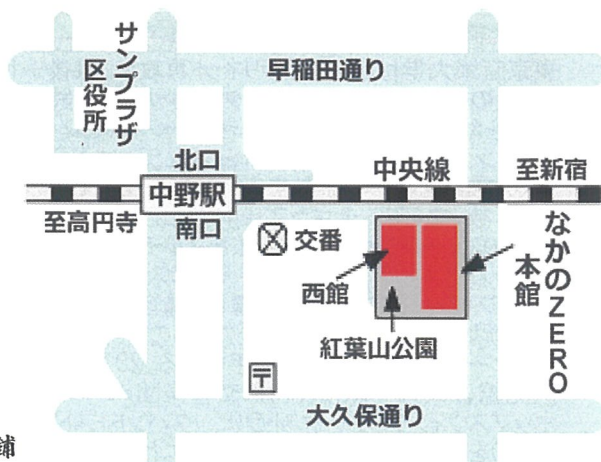
■チケットお問い合わせ・お申し込み

西脇基金を支える会 TEL.03-3256-3674

主催：西脇基金を支える会

共催：東京都社会福祉協議会

協賛：榮々楼徳本舗



西脇基金チャリティーコンサート協賛のお願い

何らかの事情で両親と共に暮らすことのできない子どもたちが、児童養護施設や里親の下で養育されています。やがてその子どもたちはそこを巣立ち、自立していきますが、高校卒業後、自立する児童のうち向学心旺盛で、大学、短期大学、各種専門学校等に、進学し、特に援助を必要とする子どもたちに学費の援助をしている基金があります。

昭和61年に逝去された夫君西脇和昭様の遺志として西脇麻耶様より基金設置の申し出があり、同年12月、西脇基金として社会福祉法人東京都社会福祉協議会内に設置されたものです。

試験によって選抜することなく、都内の児童養護施設及び里親からの推薦によって決定し、返済を求めないこの基金は、多くの子ども達の進学を応援し、励まし、支えて、初年度6名に始まり、翌年度から平成22年度までは2桁であった奨学生は昨年度250人、今年度292人と成長しています。

これまでの36年間に延べ3,562件、人数にしますと1,581人の子ども達がこの基金からの助成によって支えられてきました。本基金の運営は、この基金の果実によって奨学金給付を行うものですが、子ども達の修学意欲の向上が嬉しいことの一方で、長らく続く低金利の下で奨学金給付の継続は極めて困難な状況となりました。

そこで、私たちは広く募金を呼びかけて果実の不足を補い、奨学金給付事業の継続と基金の維持のために働きたいと思っ

て集まり、毎年のチャリティーコンサートを通じて多くの方に西脇基金の活動を知っていただく活動をしております。子ども達が自立して社会に参加し、社会貢献できる未来に向かって努力できる環境を守るために、是非とも、ご支援の和を広げること、お力を貸していただきたいのです。

西脇基金の活動は、西脇和昭様の生前のお言葉「子ども達が学ぶ気持ちになった時がチャンスだから成績や過去の素行で差別してはいけない。」に従って運営しています。

寄附金の受付は、常時行っております。西脇基金を支える会(03-3256-3674)にご連絡いただければ、手続きについて説明させていただきます。

どうぞ応援してください

公認会計士として働いていた夫が36年前に48歳で他界しました。働き盛りなのにさぞ無念だったろうと思ひ、わずかな遺産ではありましたが、夫の代わりに働いてもらうことに致しました。勉強したくても出来ない若い人の援助をしようと、奨学金を作ることにしました。特に養護施設を出た子供たちのための奨学金にしました。1人当たりの金額はわずかですが、進学を選べる糸口になれば少しは意義があるかと思っています。子供たちが知識を得たり、技術を身につけることによって、自分に自信を持ち、生活し将来仕事が出来人に育ってくれるよう願っています。お蔭様で皆様のご協力により、子供たちが専門学校や大学で学ぶことが出来ています。1999年10月から宮内真木子さんが「西脇基金を支える会」を2019年1月から細田満理さんが「西脇基金応援団」を立ち上げてくださり、基金の命をつないでくださっています。皆様のご理解とご援助のお陰で、今まで続けてこられたことに感謝致します。どうかこれからも温かい応援をお願い申し上げます。

西脇麻耶

●東京都社会福祉協議会・西脇基金とは

児童養護施設や里親から巣立ち、大学、短大、専門学校等に進学する児童の修学に要する費用を給付し、児童福祉の向上に寄与するために運営されており、社会福祉法人東京都社会福祉協議会内に設置されています。

西脇基金への寄附金は社会福祉法人東京都社会福祉協議会への寄附金として受け入れ、その全額を西脇基金に組み入れます。東京都社会福祉協議会に対する寄附金は所得税法上の特定寄附金として所得控除の対象となります。

～ 出演者紹介 ～

鈴木直樹 BAND

鈴木直樹が率いるポップスウィング・オーケストラのスペシャルメンバーによるスーパー・エンターテイメント・ユニット!

鈴木直樹 クラリネット / サキソフォーン

東京音楽大学付属高校クラリネット専攻卒。戦後一世を風靡した「鈴懸の径」で知られるジャズ・クラリネット奏者 鈴木章治(伯父)の演奏を幼少時代から身近に聴き、ジャズに傾倒。

スウィング・スタイルをバックボーンに、デュオからビッグバンドまで多くの編成を率いて活動する他、ソリストとして多くのコンサートに出演。故 エディー・ヒギンズ氏(Pf.) 山下洋輔氏(Pf.)はじめ多くの内外のミュージシャンと共演。またマルチ・プレーヤー(クラリネット/ソプラノ・アルト・テナーサクソ等)のスタジオ・ミュージシャンとしても、ジャンルを越えた多くの舞台、録音に携わっている。2015年より「新城(しんしろ)ジャズ」(愛知県)の音楽監督も務め、近年はコンサート・プロデュースも多く手掛ける。2021年、2022年と「軽井沢国際音楽祭」に出演、NHK交響楽団メンバーと共演する他、ポップスウィング・オーケストラ(ビッグバンド+ストリングスのオーケストラ)を主宰し精力的に活動。多岐にわたる演奏活動を展開中。

富岳太鼓

富岳太鼓は、日本一の霊峰富士の麓、静岡県御殿場市に所在します。

設立は1977年、社会福祉法人富岳会の会長山内令子が法人の施設を利用する知的障害者のセラピーとして、和太鼓に着目したことから始まりました。富岳太鼓は魂を揺さぶる「響き」、鼓動と同調する「リズム」、感情を全身で表現する「躍動」、共に打ち込む「喜び」など、打てば響く太鼓の持つ秘めたる可能性を、独自に開発した和太鼓療育プログラムに効果的に取り入れ、知的障害者のセラピーとして実践しています。

そしてその効果は心身多面に表れ、今では障害者のリハビリテーションや社会自立のトレーニングとしては勿論のこと、障害者の文化・芸術活動にまで広がりをみせ広く海外からも注目を集めています。

富岳太鼓の富岳とは、富士山の別名であり、その名の通り、演奏する曲のすべてが富士山にまつわる神話、民話、自然、まつりをテーマとしたものであり、富岳太鼓の代表山内強嗣の作曲によるオリジナルの創作太鼓です。